

千葉教育

萩

平成30年度
No.651

8・9月

千葉の子どもたちの未来のために

特集

新学習指導要領と教育の情報化

～情報活用能力の育成に向けた児童生徒のICT活用～

○シリーズ 現代の教育事情

東北大学大学院情報科学研究科教授 堀田 龍也
文部科学省生涯学習政策局情報教育課情報教育振興室長(併)初等中等教育局視学官 安彦 広斉
県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当
船橋市総合教育センター

○就任あいさつ

千葉県教育委員会教育長 澤川 和宏



千葉県総合教育センター

◆学校自慢

「輝け！未来のスペシャリスト」

県立茂原樟陽高等学校長

小安 由男

◆就任あいさつ

光り輝く「教育立県ちば」の実現を目指して ～子供たちの「強く美しく元気な心」の育成～ 千葉県教育委員会教育長

澤川 和宏 …2

シリーズ！ 現代の教育事情 新学習指導要領と教育の情報化 ～情報活用能力の育成に向けた児童生徒のICT活用～

■新学習指導要領と教育の情報化 ～情報活用能力の育成に向けた児童生徒によるICT活用～ 東北大学大学院情報科学研究科教授 堀田 龍也 …4

■新学習指導要領における小学校プログラミング教育の必修化 文部科学省生涯学習政策局情報教育課情報教育振興室長（併）初等中等教育局視学官 安彦 広斉 …6

■市町村におけるICT環境整備の推進について 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当 …8

■船橋市の小・中・特別支援学校におけるICT環境整備について ～Society5.0社会に向けて～ 船橋市総合教育センター 10

私の教師道

■学校を創る 『みんなでつくる笑顔の学校』を目指して 八千代市立新木戸小学校長 穴浦 重智 …12

■学校を支える 家庭や地域から信頼され誇りにされる学校の実現にむけて ～地域との連携と人材の活用をとおして～ 東金市立正気小学校教頭 石原 信行 …14

■学校を動かす 教務主任として、今、自分にできること 南房総市立白浜小学校教諭 安田 隆光 …16

■子どもを知る 一人一人を見つめる くるみこども園幼稚園教諭 村上結希瑛 …17

■子どもを知る 夢を与える存在に 印西市立木刈中学校教諭 松村 興佑 …17

■授業を創る 実生活と授業での学びを結びつける 佐倉市立佐倉中学校教諭 細川 浩美 …18

活・研究 長期研修生からの報告

■小学校編 主体的に学び続ける児童を育成する博学連携の在り方

いすみ市立夷隅小学校教諭

橋本 英正 …20

■中学校編 感性や創造性を豊かに育む美術科指導における言葉の効果に関する研究

～思考ツールを活用したイメージの鮮明化～

柏市立光ヶ丘中学校教諭

阿部 健一 …23

■高等学校編 高等学校につなげる中学校歴史学習における歴史的思考力育成の試み

～ツールミンモデルを用いた思考過程の可視化～

県立木更津高等学校教諭

松本 隆夫 …26

情報アラカルト

■本センターの新しくなった研修室・機器の紹介 県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当 …29

■「第2次千葉県特別支援教育推進基本計画」及び「第2次県立特別支援学校整備計画」

～共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進～

県教育庁教育振興部特別支援教育課 …30

■“今どき”の初任者研修は、昔と一味違う！～Iceコミュニティの利用～ 県総合教育センター研修企画部 …32

■「千葉県から全国へ」～平成29年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展より～ 県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育担当 …33

学校 NOW！

■先進校の取組 主体的に道徳性を高めようとする生徒の育成 ～生徒が意欲的に考え議論する授業づくりをめざして～ 山武市立成東東中学校 …34

■学校歳時記 教科等横断の授業をどう展開するか

教育創造研究センター所長

高階 玲治 …36

◆発信！特別支援教育 特別支援教育講演会のお知らせ

テーマ「幸せになるためのアンガーマネジメント（怒りのコントロール）」

県総合教育センター特別支援教育部 …38

◆千葉歴史の散歩道

養老川流域田淵の地磁気逆転地層が国の天然記念物に指定されます 文化財課指定文化財班文化財主事

水野 大樹

道標

新学習指導要領と教育の情報化 ～情報活用能力の育成に向けた児童生徒のICT活用～

平成30年3月に告示された新高等学校学習指導要領では、情報教育の目標を「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」及び「情報社会に参画する態度」の3観点で捉える考え方について、情報活用能力を育むための指導内容や学習活動を具体的にイメージしやすくした指導を充実させている。

情報活用能力についても、各教科等において育むことを目指す資質・能力と同様に、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」及び「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱によって捉えていくこととし、それを通じて情報活用能力を「世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力」としている。このことによって、児童生徒が育む資質・能力がより明確になり、学習や指導が一層充実していくことが期待されている。

情報を活用して問題を発見・解決したり、自らの考

えを形成したりする学習活動について、前年度に出された新小学校学習指導要領では「情報や情報手段の良さや課題があることに気付く」、「情報手段の基本的な操作ができる」ことが重視され、中学校では「抽象的な分析も行えるようにする」など、小学校より高いレベルが求められる。高等学校では「科学的な知として体系化していく」といった総合的なことが目標とされた。

このような情報活用能力を確実に育んでいくためには、教育課程全般を見据えながら、組織的に取り組んでいくことが重要である。情報技術を適切かつ効果的に活用しながら、問題の発見・解決に取り組むなど児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことも期待されている。

本号では、新学習指導要領における「情報活用能力」の育成に向け、児童生徒がわかりやすく深まる学習にするためには、どのようにICTを効果的に活用すればよいか考察していきたい。